



Q 自然排卵があるのに「排卵誘発剤」
を使うことがあるのでしょうか？

(尼崎市・37歳)

排卵状態を整える排卵誘発剤は 量を調整して用いることが重要

A 自然排卵があるのに排卵誘発剤を使う場合、目的は二つ考えられます。

一つ目は、自然排卵があっても、月経から排卵までの日数が長い場合です。月経から排卵までは通常14日前後。これが21日以上の場合、長いとみなします。この期間が長いと良好な卵子にならないことが多く、また、年間排卵回数が減るため、排卵誘発剤で周期の短縮化を図ることを目的に用いられます。

二つ目は、1回に排卵する個数を増やす目的です。通常、排卵個数が多いと良好な卵子の数が増えます。また、卵管内へ卵子が取り込まれる確率も上がります。結果的に妊娠率が高まるので、排卵誘発剤を用いるのです。例えば、1個排卵の妊娠率を $x\%$ とすると、2個なら $2x\%$ 、3個なら $3x\%$ と増えていきます。ただし、4個以上になると妊娠率は直線状に上がるわけではありません。むしろ、極端な多胎妊娠の可能性も高まりますから、排卵誘発剤は量を調整して使用することが重要なのです。

セミナーのお知らせ

25日(土)15~18時

同クリニックARTホールで。
妊娠の基礎や不妊症の詳しい知識、正確な情報が得られます。参加無料、要予約。

西宮市松籟荘10-25
TEL 0798・54・8551
メール jart@iris.eonet.ne.jp

回答者

徐クリニック
ARTセンター

院長 徐東舜

1987年大阪大学卒業。
医学博士、工学士、
生殖医療指導医。

<http://www.joclinic.jp/>



徐先生に聞きたい不妊に関する質問をお寄せください → FAX 06・6341・3936